

JOBURG EXPRESS

ヨハネスブルグ日本人学校 中島緑郎

今回は学校の様子を紹介します。

十勝は冷夏だったとか。こちらは冬でしたが、例年よりも冷え込みが長く厳しかったそうです。つららや霜も見ることができました。それでも十勝でいえば10月下旬くらいの気候といった感じでしたが…。

さて、今回は私が勤めるヨハネスブルグ日本人学校は危険といわれる市の中心から10kmほどの北の住宅地に位置しています。今回は学校施設の様子を紹介しようと思います。



W杯に日本が出場を決めましたね。記念に横断幕を作つて全校生徒で写真を撮りました。

ちなみにこの横断幕、私が全部手書きで作ったもの。足掛け3週間、貴重な空き時間をすべて費やした力作であります。(学校のHPも見てください。)



校舎正面です。遠目からはきれいに見えますが、結構古いです。地元業者が作ったので地元の学校と同じ構造です。門は常に閉じていて、入るにはガードマンのチェックを受けます。





門の脇にある守衛小屋。地元のセキュリティー業者から派遣されたガードマンが24時間詰めています。夜は銃を所持!



住宅と同じく、学校の周囲もぐるりとエレクトリック・フェンスで囲まれています。個人的にはそれほど危険を感じないのですが、昨年空き巣に入られてパソコンが盗まれたそうです。ガードマンさんやスクールバスのドライバーさんはみんな地元の黒人ですが、すごく優しく楽しい方々です。しかし犯罪に走るのも黒人が多い。もともとはいい人たちなのに、貧困が人を変えてしまうのが悲しい現実です。ワールドカップがなにかのきっかけになるといいな、と思います。



ここまで読むといかにも危険でビクビク暮らしているように思えるかもしれません、実際はみんな楽しくやっています。校地にはプールとテニスコートがあり、グラウンドは全面が芝生です。お昼はみんな弁当持参なので、こんな風に食べたりしています。全校が30人余りなので、ちょうど瓜幕小と同じ規模でしょうか。日本各地から子どもが集まってくるところなんかも似ていますね。ただし、時数確保のために週に3日は7時間授業(!)です。忙しいところもそっくり!?



こちらは教室の中の様子です。朝晩は0°C以下になる日も多いヨハネスの冬は、思った以上に寒いです。というより暖房設備がほとんどない!

レンガ作りの校舎も夏用に日差しが入らない設計なので、手がかじかんでノートが書けない…なんてこともあります。暖房が入りすぎて汗をかいていた瓜幕小の教室が懐かしい今日この頃です。

ちなみに写真は6年生、私の学級。3人しかいなけどぎやかです。

To Be Continued! →